

新しい方向



新しい年度を迎えても、地球温暖化、外圧、南海トラフによる巨大地震など、自然現象

又、社会現象では会員組織の減少、少子化高齢化等々が大きな問題となり、少しでも正面から取り組んでいかなければと思っています。未熟な私ですが、令和七年度も引きつづき連合会長の職責を担うことになりました。皆様方のご援助をいただきながら、自治会活動も実情に即した対応が求められます。役員はじめ会員皆様のご協力を得ながら進めてまいります。令和六年三月には長良・糸貫線の一部が完成。将来の道路網が完成。令和七年



第302号

発行 黒野自治会連合会 編集 黒野自治会連合会事務局 印刷 ヨツハシ株式会社

黒野自治会連合会 会長 西垣 薫

四月は東海環状自動車道の岐阜ICが開通致しました。日本の真ん中にある岐阜市が高速道路で結ばれたことは、これからの発展に期待ができます。岐阜市の北玄関口、副都市としてライフサイエンスシティ等々の構想については、ただ地区の問題ではなく、黒野地区・市・県、一体でまちづくりの基礎をもとに考えて発展すること願います。岐阜大学、附属病院、岐阜薬科大学整備促進、まちづくりにも尽力していきますので、ご支援をお願いいたします。

令和7年度 黒野自治会連合会 役員

Table with 3 columns: 役職名 (Position), 名前 (Name), 所属自治会 (Affiliated Association). Lists members including Chairman Seiji Nishimura, Vice Chairman Kenji Goto, and various committee members.

まちづくり協議会

Table with 3 columns: 役職名 (Position), 名前 (Name), 所属自治会 (Affiliated Association). Lists members of the community planning committee.

(敬称略)

第二回傘寿を祝う会

実行委員長 神山 富雄

ご承知のとおり、少子高齢化の時代を迎え、黒野地区におきましては、八十歳以上の方が千五百三十三名おられます。市内で最も多い地区となっております。従来は小学校体育館にお集まりいただき敬老を祝う会を実施しておりました。昨年度からは、八十歳に達される方を傘寿を祝う会としてご招待申し上げるということに致しました。昭和十九年から昭和二十年四月一日までにお生まれの八十歳の方、百七十九名に御招待状を発送しました。

敬老の日の九月十六日に七十八名の方が元氣に出席されました。会場一杯の貴久家に岐阜市長(代理)と三名の県市議員の臨席も頂き、乾杯のあと、会食と歓談に移り、余興として岐阜県民謡研究会の皆さんによる「津軽三味線」の演奏で会場に華を添えて頂きました。

八十年の来し方を語り合いながら楽しいひとときを過ごして頂きました。一年でも長く健康でお過ごしされますことを祈念いたしております。

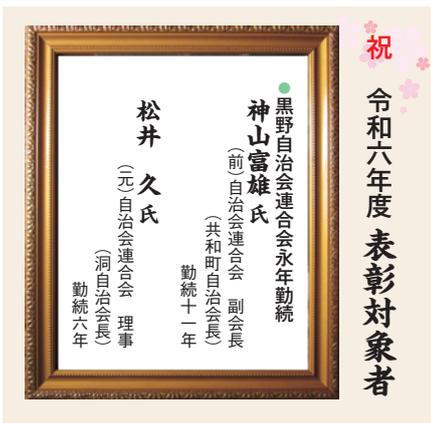


「令和六年度傘寿を祝う会」に参加しての思いについて

謝辞代表 浅野 浩

傘寿を祝う会の会場に訪れた時、一番驚いた事は、参加者が七十八名と報告を受けた時でした。私は黒野で生まれ、黒野小学校の同級生八十名程で、三十名前後の参加者ではないかと予想していました。八十年の月日が黒野地域の人間交流が出来、自分の思いと掛け離れていた事にビックリしています。私事で大変恐縮ですが、現在伊良川改修期成同盟会の幹事長をしている立場で、黒野地域の水害対応二項目に関心を持って頂きたい。

一項目は、雨水地下浸透率が五十年前と比較して大幅に減少している。二項目は、岐阜IC建設等で、内水氾濫発生率が年々増加している状況です。日本国内で一時間八十mm以上の猛烈な雨が降った回数が増加する予定。今後増加する予定。是非、水害に関心を持って下さい。



東ブロック防災訓練

黒野自治会連合会 副会長 堀田 啓二

令和六年度十月十七日東ブロック十三町内の防災訓練を南海トラフ巨大地震が発生し岐阜市で震度七の地震発生を想定し総勢約三〇〇人の参加にて実施致しました。

防災行政無線子局と消防団車両等による避難広報を実施、対策本部を設置。危険箇所を確認し合いながら自治会旗を先頭に黒野城址公園に集合し安否情報などを集約、八時三〇分各町内避難が完了。消火器訓練、止血法、AEDの使い方を行いました。参加者全員に体験をして頂くのが本意で有りますが、なかなか出来ません。今後の反省として考えていきたい。最後に岐阜北消防署黒野分署長の講評で訓練を終了致しました。

又今年度から防災士の会を設立し今回防災士の会を中心に実施して頂きました。今後も、防災強化に尽力して頂きます。

参加頂いた皆さま関係諸団体各位に感謝と御礼を申し上げます。尚令和七年度は中ブロック自治会が防災訓練を洞公園で予定しています。



地域の防災力

防災士の会・会長 久世 和明

令和六年十月二十七日(日)、黒野(東ブロック)地域自主防災訓練を実施しました。防災訓練を行うのに一人でも多くの人が参加されるようにと、手を変え品を変えて必死で訓練計画を作成しました。

しかし防災訓練を毎年実施していると、毎回限られた人ばかりが参加していたり、町内ごとに割り当てられた人数を確保するために動員された人たちが大半を占めていることに気づきます。

この傾向は、防災意識や防災行動力の無さを表しているのではないだろうか。だとすれば、堅実な防災の底辺を広げることが検討し直さなければならぬ。

そこで、黒野地域では、本年四月に黒野防災士の会が設立されました。

これは、黒野地域における防災・減災活動の実践及び人材の育成を行い、市民の防災意識・地域防災力の向上を図ることを目的とした防災士の会です。

★「地域の防災力」の主役は「防災士の会」です。

二十歳のつどいに参加して

実行委員長 郷 丈文

今年の二十歳を迎えられた黒野の対象者は一五二人あり、二十歳のつどい参加者は六八名で開催されました。参加者は艶やかな晴れ着・スーツを身にまとい、会場は華やかな雰囲気になっていました。

式典は、ご来賓の方々のお話を頂き進行していくにつれ、参加者の表情は責任感を持たれた表情へと変わられた印象を持ちました。また、黒野の未来人がここに誕生されたと感じ、安心感と期待感があふれてきました。

現在は若者の減少で高齢化社会となり、黒野を担って頂ける皆さんはとても大切な方々であると実感しています。

誓いの言葉では、自分たちの将来に強い期待を抱いておられることが強く伝わり、私たちは期待に応えるべく黒野の住みよい環境を創る責務があると感じています。

最後に、西部コミュニティセンターをはじめ関係者の皆様のご協力で二十歳のつどいを開催できたこと大変感謝申し上げます。ありがとうございます。



二十歳のつどいに参加して

堀口 由榮

二十歳という節目を様々な方に見守られ、温かいお言葉を頂ける場に参加できたことを心から嬉しく思うと同時に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

私は現在、大学で学ぶため、一八年間過ごした黒野を離れて生活しています。久しぶりに帰る地元はとても温かく安心感があります。黒野に生まれ、育つたことは私にとつての財産だと感じています。そのようなことを改めて感じる事ができたのが、今回の二十歳のつどいでした。直接関わりのある方もない方も私たちの二十歳を祝って下さったこととても嬉しかったです。

いつか岐阜県や黒野に戻り、地域に貢献できる社会人となるよう今はより一層、勉学に励みます。本当にありがとうございます。

黒野の活性化に向けて

岐阜県議会 議員 平野 恭子



黒野の皆さま、いつも大変お世話になりありがとうございます。

4月6日に待ちに待った岐阜インターチェンジが開通いたしました。3月23日の開通記念イベントでは、地元黒野として、古町のお神輿・ステージパフォーマンスに黒野民謡保存会と黒野城武将隊が出演しセレモニーを盛り上げました。

そして、まさに今、黒野地域の発展の為に取り組むべき時であります。この地域は「知」の拠点であります。企業誘致を推し進めると同時に、岐阜大学・岐阜薬科大学の研究をもとにした体験施設や地域課題解決に向けた実証フィールドの提供、地域資源を活用してブランド力のある商品の展開などができる特徴のある道の駅を作る。このような交流拠点化をはかることで、ライフサイエンスパークとしての学術・産業集積の拠点化を目指していくことができます。

皆様とともに黒野の未来をつくり上げていきたいと思っておりますので、引き続きご指導の程よろしくお願ひ申し上げます。

新しい時代の幕開け

岐阜市議会 議員 黒田 育宏



黒野地区の皆様が待ちに待った岐阜インターチェンジが4月6日に開通しました。このインターチェンジの開通により、岐阜市の経済、観光、医療分野などの発展に大きな波及効果が期待される所です。

現在、この東海環状自動車道沿線市町では、その市町のインターチェンジを活用した企業誘致や施設整備などが積極的に進められ、都市間競争が激しさを増しています。

そうした現状に鑑み、岐阜市もライフサイエンス拠点を核とした北の玄関口としてのまちづくり構想を早急に策定し、それに基づく整備を促進する必要があります。そのために、昨年は皆様のご協力により署名活動を行いました。また岐阜市からの回答はありません。

今後は、この岐阜インターチェンジを活用した黒野地域の活性化について、皆様と共に検討を重ねてまいりたいと思っております。いずれにいたしましても、皆様のご協力なくして地域の活性化はありませんので、どうぞご協力をよろしくお願い申し上げます。

地域の未来へ、新たな一歩をとる

岐阜市議会 議員 大塚 翔太



本年4月6日、岐阜インターチェンジが正式に供用開始となり、黒野地域を取り巻くまちづくりに、新たな可能性が広がりはじめました。

開通前に開催されたイベントには多くの方々に参加され、地域全体に前向きな機運が満ちていたことが強く印象に残っています。

まずは、この大きな事業の実現に向け、長年にわたりご理解とご協力を賜った地権者の皆さま、そして地域の皆さまに、心より感謝申し上げます。皆様のご尽力があってこそ、黒野のまちづくりは一步一步着実に進んでまいりました。

これからは、インターチェンジ開通の効果を地域全体で活かしていく段階です。「黒野らしさ」を守りながらも、新たな魅力を創出し、将来を見据えた活力ある地域づくりに取り組んでまいります。

市議会議員として、そして一市民として、皆さまの声を大切にしながら、地域の未来をともに築いてまいります。

令和6年度に実施した
主な行事

- **青ハト講習会の開催(黒野云館)**
六月十八日(火)開催
六五名が受講
- **黒野・西郷コミュニティバス
乗車促進事業**
七月二十九日(月) 記念品配布
- **黒野ラジオ体操会**
(黒野小学校グラウンド、まち協
名が参加)
八月四日(日)早朝から五百余
名が参加
- **傘寿を祝う会**
九月十六日(月)貴久家で開催
傘寿対象者一七九名
出席者九六名
- **自治会会長研修 鶴飼見学**
九月二十五日実施
- **防災訓練**
十月二十七日実施
東ブロック(十三自治会)黒野城
跡公園グラウンドで開催
自治会会員一九七名 他、水・
消防団、日赤奉仕団、女性防
火クラブ、防災士の会
合計約三〇〇名が参加
- **フリン作戦の実施**
黒野校区では単位自治会ごと
に、五月の下旬にごみゼロ運
動、十一月中旬にフリンシ
ンティぎふ運動を実施
- **二十歳のつどい**
令和七年一月十二日(日)
西部コミュニティセンターで
開催
対象者一三八名 六七名出席
- **東海環状自動車道
インターチェンジ開通
イベント開催**
三月二十三日開催
黒野民踊保存会、黒野こども
園、黒野武将隊、古町の神輿
が出演しセレモニーを盛り上
げました。

令和6年度の各種団体活動だより

黒野公民館

● 公民館講座 15講座開催

全国各地で地震などの自然災害が多い中、防災講座や
防災食講座を開催。又、校区内で詐欺事件もあり、詐
欺にあわないための防犯講座や交通安全講座の実施。更
には要望があったスマホ講座。フレイル予防のための歯
科衛生講座。黒野に古くから伝わる民踊講座などを開催。
● **会館まつり 10月26・27日開催**
会館を利用するクラブ・サークルの展示や舞台発表を
実施し延べ3001人が来館。又、岐大看護学科の学生
が、健康や食のブース設置。

● 校区文化祭 11月2・3日 黒野小体育館

自治会はじめ地域の皆様のご協力により延べ470人
が来場。幼児・小学生・岐北中美術部や、クラブ・サー
クル、個人など1140点の作品を展示。又、新しく
似顔絵コーナーや岐大看護学科の学生の健康や食の
ブースを設置。

● その他各種会議

公民館運営審議会や運営委員会を開催し、運営につ
いて審議。又、公民館利用者会議では救急救命講習や避
難訓練等実施。
館長 黒田富貴子

黒野白寿会連合会

高齢者の共助の場である本会は、12の単位白寿会、515
名からなる小世帯ですが、「健康・友愛・奉仕」を指針に多
彩な行事を催し、会員の絆を深める役割を果たしている。

● 総会と研修・福祉大会

5月大会―功労者表彰や慶祝記念品贈呈、決算・予算
事業計画等の議決、筋トレ体操・オカリナ演奏。10月
大会―フレイル予防の食療法、膝を長持ちさせるコ
ツの講演とあすなろコーラス部合唱。

● 美化清掃活動

5・9月奉仕の日の城跡公園等の清掃、6・12月ふれあ
い白寿会花壇花植え、各単位白寿会の定めた定期的な
地域清掃。

● 健康活動

6・10月連合会GG大会、8・9月高齢者スポーツ教室
9月市高齢者体育大会、5・11月三世代交流ベタンク大
会、年3回の西部ブロック大会、12月三校区GG大会等。

● 友愛部活動他

一人暮らし会員へ7・12月慰問品配布や11月同会員の集
い、単位白寿会毎の訪問活動。また下校児童の見守り
活動、小学3年社会科授業でGGや昔の遊びでの交流。

新会長 清水 稔(前会長 中尾 光子)

黒野青少年育成市民会議

令和6年度活動報告

子育て支援として、親子ふれあい教室(0歳～1歳児)を5回開催しま
した。岐阜大学医学部看護学科の皆さんや、地域の方々に協力をいた
いております。その他、防災教室・地域補導活動・青少年育成の街頭啓
発活動などを行いました。2ブロック合同の活動としましては、小中
校の皆さんに、地域のことや家族のルールについて綴った作文を夏休
みに募集し、十一月に行われた「2ブロック健全育成大会(西部コミセン)」
に表彰が行われました。青年ボランティア人材バンク「コネット」では、
地域活動に協力していただき、ぜひお声かけください。

黒野子ども会育成委員会

令和6年度は、インリダー研修を3
回行いました。第1回は開講式と危険予
知トレーニング、第2回は壁新聞作り、
第3回はクリスマスリース作りと閉講式
でした。時間に余裕がある日はドッジ
ボールもしました。どの子も積極的に参
加し、みんなで相談しながら楽しく活
動できました。リーダーにふさわしい姿を見せてくれたと思
います。1月にメディアアコースムスにて壁新聞展が開催され、子
ども達が作成した壁新聞が展示されました。7年度もイン
リダー研修が行われる予定ですので、楽しみにしてい
てください。



北消防団特別点検の様子

黒野民生委員児童委員協議会

● **黒野児童館行事に協力**
コロナ後 ヨガクラブ(毎月1回)と親クラブ(年5回)が再
開しましたので未就学児の託児も始まりました。そして児
童館まつり(8月23日)・ちびっこまつり(3月12日から14
日)に参加協力。

● ひとり暮らし高齢者の集いに協力

社協黒野支部協賛で実施しました。

● 赤い羽根共同募金運動に協力

例年10月より法人共同募金運動を実施し、今年度は37の地
域の企業からご協力を賜りました。感謝申し上げます。

● 高齢者宅防火訪問を実施

11月に入り各地区委員が消防署員と同行して自治会加入不
加入問わず高齢者宅を訪問し防火チェックを実施しました。

会長 上村佳代子

岐阜市北消防団

● 黒野分団

平素は黒
野分団の活
動にご理解
とご協力を
頂きまして
深く感謝申
上げます。
消防団は、
火災やその他
の災害が起こ
った際には、
消防署と連携
して災害対応
を行います。



平常時には、いざという
ときに備えて、放水訓練、消
火栓や防火水槽などの消防施設
の点検や火災予防啓発のため
の広報活動、特別警戒等、地
域に密着した活動を行って
います。

また、その他には、校区の
要請に応じて、地域防災活動
や自治会行事への協力を行っ
ています。

社会情勢や働き方の変化も
あり、消防団員の確保が年々
難しくなっていますが、今後
起こりうる大規模災害に備え、
消防団が果たす役割は極めて
重要と考えています。

分団長 西垣 浩



会長 川脇 秀樹

令和7年度 黒野水防団 活動予定

4/27(日)	入団式 第1回 訓練「杭打ち積土のう工」
5/17(土)	岐北中学校「命を守る訓練」参加 「土のうづくり伝達」
5/18(日)	第2回 訓練「杭打ち積土のう工」
5/25(日)	木曾川水防連合演習 参加 「杭打ち積土のう工」披露
6/15(日)	岐阜市北部13団連合演習 参加 「杭打ち積土のう工」披露
6/22(日)	岐阜市水防連合演習 参加 「杭打ち積土のう工」披露
10/4~5	黒野市民運動会準備及び当日運営補助
10/下旬	黒野校区地域防災訓練 参加

今後とも黒野水防団にご協力を賜りますようお願い申し上げます。
 会長 神谷 善彦

また、5月に岐北中学校で開催された「命を守る訓練」に参加し参加中学生に「土のう」の作り方を教えました。
 さらに、10月開催された「文化祭」の準備及び後片付け等の活動や「地域防災訓練」にも参加をいたしました。
 令和7年度は、5月に岐阜市主催の「岐阜市水防連合演習」、6月に岐阜市北部13水防団開催の「連合演習」に参加しました。その際披露する工法である「杭打ち積土のう工」の訓練を団単独で折立詰所にて合計3回行ないました。

令和6年度黒野水防団活動報告
 日頃は水防団活動にご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
 さて、黒野水防団は地域の皆様を水害から守り、地域の生命・財産を守るべく各自自治会から選出された75名で活動しております。
 令和6年度は、5月に岐阜市主催の「岐阜市水防連合演習」、6月に岐阜市北部13水防団開催の「連合演習」に参加しました。その際披露する工法である「杭打ち積土のう工」の訓練を団単独で折立詰所にて合計3回行ないました。



黒野青年OB会 「立ち続ける」

かつて黒野青年団OB会と呼んでいた頃からずいぶん年を重ねました。団がとられて青年OB会と改称されました。現在の私たちは、心の奥にいつまでも青年を持ちながら、OBとして多くの人生キャリアアとなってきました。私たちはそこに相当のボランティア価値を抱きながら活動してきました。昨年、市青年団OB会はこれを受けて今後を展望する時期になりました。私自身、五十余年前の成人式の時、キャンドルファイアーで感動的に祝賀してもらったのが当時の青年団でした。私たちはそのOBとして役立つのであれば人生の経験を生かしたいです。「人生いろいろ」活動するエネルギーとなつて、今でも立ち続ける力なのです。
 会長 田中 昭彦

黒野スポーツ少年団

黒野スポーツ少年団は現在、剣道、バレー、柔道、サッカー、バドミントンの5クラブで活動しており、全団員数は約90名在籍しています。日頃、各クラブでは練習や試合の他に、夏にはキャンプや合宿、交流遠征等の活動を行います。9月にはグラウンドゴルフホールインワン大会、11月には黒野校区歩け歩け運動大会に参加、12月には各クラブで使用している施設の大掃除、1月には餅まき、大縄跳び大会、2月には6年生の卒団ボウリング大会を実施いたしました。全団員どの行事も楽しく参加いたしました。全団員が、今後とも子供達に熱い声援をお願いいたします。各クラブでは年間を通していつでも見学、体験を受け付けております。お気軽にご相談ください。

追記 現在黒野スポーツ少年団には野球クラブがありません。黒野小学校の児童さんで野球をしている子がいます。以前は合渡小学校で活動していましたが、今年度4月から方県、網代、黒野の合同チームで野球をすることになりましたので報告させていただきます。
 会長 勝目 浩行

日赤奉仕団黒野分団

黒野分団は町内から選出された団員とボランティアの団員併せて30名が所属。赤十字の博愛、人道の精神に基づき老人施設の清掃など社会福祉活動を実施。
 ●あそび苑清掃ボランティア
 毎月第2金曜日の9時から2時間程ホールや各部屋、トイレなどの清掃活動を実施。
 ●高橋尚子ぎふ清流マラソン 4月27日
 28日開催の前日に、ゼッケン渡しなどメモリアルセンターで受付ボランティアを実施。
 ●献血運動推進全国大会 7月18日
 第60回全国大会を48年ぶりに、日本赤十字社名誉総裁秋篠宮皇嗣妃殿下のご臨席を賜り、岐阜市の長良川国際会議場で開催。
 ●防災訓練 10月27日 黒野城跡
 東部地域防災訓練に参加。けがや骨折した際の三角巾を使った応急手当の仕方を担当。
 ●校区文化祭での募金活動 11月2・3日
 黒野小学校体育館で開催の校区文化祭で、能登半島地震などの募金活動を実施。11137円を日赤奉仕団岐阜市部へ届けた。
 分団長 黒田富貴子

女性防火クラブ 「備えあれば憂いなし」

令和6年度の活動報告としては岐阜北消防署黒野分団署長さんに能登の震災があった時の事を踏えて身の守り方などを学ぶ。指導員講習会、広報誌の配布、黒野消防団の年末夜警に参加。毎月1日から15日に校区内の夜間広報と火災予防啓発活動を行った。先頃は、大能野、岡山の方で山林火災で多大な被害を受けておられます。南海地震も80%の確率で起ると云われております。それに備えても用意する必要があると思います。
 ①停電になった時でも電池で鳴るラジオは災害時の必需品として認識されております。被害状況や安否、生活情報と聞く事により少しは安心感をいただくものと考えられます。
 ②トイレはダンボールの空箱にビニール袋を利用して使用する。
 ③避難として基本の防災グッズは
 ・持ち歩き用の貴重品(現金、印鑑)
 ・避難用には常備薬、小型ライト、モバイルバッテリー
 ・在宅避難用にはマスク、ホイッスル、プランケット
 ・在宅避難用には常備薬、小型ライト、モバイルバッテリー
 ・在宅避難用にはマスク、ホイッスル、プランケット
 等があります。参考までに利用下さい。3種に分けてリュックサックに入れるとまとまりが良いかと思えます。
 先日、黒野の一部ですが消防車でパトロールしました。少し気になる所がありました。家の周りには燃えやすい物は置かない様に御注意下さい。新聞紙の束とか棒切れなどは、放火につながりかねません。又、外出時やお休みの前には今一度確認をしていただけたら安心してお休みになれます。
 備えあれば憂いなしの精神で参りたいと思っております。
 会長 後藤登志子

令和7年度 黒野自治会連合会の主な行事予定

月	日程と行事内容	開催場所等
6月	1日：【くろの広報】302号の刊行	全戸配布
	13日：青バト講習会	黒野会館
	14日：各種団体長と合同会議	黒野会館
7月	11日：校区民生・児童委員協議会の合同研修(社協)	
8月	3日：黒野ラジオ体操会(まち協)	黒野小グランド
9月	15日：傘寿を祝う会	貴久家
10月	1日：国勢調査	
	5日：校区運動会	黒野小グランド
	26日：防災訓練(中ブロック自治会)	洞公園
11月	8・9日：黒野会館まつり	黒野会館
	24日前後：クリーンシティぎふ	各単位自治会
1月	11日：二十歳のつどい	西部コミュニティセンター
年間	資源分別回収(毎月第2土曜日)	各単位自治会
	地域安全パトロール	校区巡回
	人権学習会	各単位自治会
	岐阜大学医学部看護学科の実習(まち協)	自治会・各種団体等
	認知症介護予防教室(8月・9月 社協)	
	ひとり暮らし高齢者のつどい(10月 社協)	

編集後記

感謝

今年度より「くろの広報」の編集に携わり、この黒野のまちをよりよくしようと、多くの方々が携わっていることを、強く感じました。また、広報編集にあたり、いろいろな方にお力添えを頂き、いろいろの皆様感謝いたします。
 ・黒野のまちのために活動されている各種団体の皆様
 ・お忙しいところ「くろの広報」に原稿を執筆して頂いた皆様
 ・編集にあたりいろいろの助言をしてくれた諸先輩、および印刷会社の皆様
 ありがとうございます。
 これからもよろしくお願ひいたします。

事務局 郷 尚之

令和7年度

4/6	黒野分団入団式 午前8時~
4/22	評議員会 午後2時30分~ 支部会議 評議員会終了後
4/25	女性防火クラブ総会 午後7時30分~